

# ハピ「あさぐる」ツア-

青森県は、早起き日本一です。早起きなので、朝早くからとっても元気。  
その中でも特に元気いっぱいの八戸の朝を、ぜひぜひ楽しんでいただきたいっ！という強い思いから、  
一つのツアーが誕生しました。

八戸「あさぐる」ツアー。ホテルと朝市と銭湯を、乗り合いタクシーでぐるりとまわる、なんとも健康的でユニークなこのツアーは、昨年冬より3ヶ月半の期間限定で行われました。朝市では、八戸の港にあがった新鮮なお魚をはじめ、シャキシャキパリパリの鮮度が高いお野菜、その日の朝に早起きして作ったお惣菜などが並んでいるので、朝ごはんを食べたり、お土産を選んだりできます。また、人口当たりの公衆浴場数日本一の「銭湯王国・青森」の中でも、八戸の銭湯は半数以上が朝5時過ぎから営業しています。

塩泉の温泉銭湯や20度前後のしゃっこくない(つめたくない)

水風呂があるところなど、それぞれが特徴のある銭湯ばかり。

他にも、うたせ湯や電気風呂、バイブラや薬湯など

数種類のお風呂が一度に楽しめます。

大好評のうちに終了したこのツアーは、第二弾を予定しているそうです。

4月20日頃再開するとのことなので、この機会に是非、八戸ならではの朝の楽しみ方を、堪能してみませんか。(村木)



# もうすぐ母の日

5月10日は母の日ですね。

私は毎年、母へ何を送ろうかと頭を悩めます。

昨年はお菓子、一昨年は割烹着、一昨々年はハンカチと、これまでさまざまなお品を贈りました。

そもそも母の日は、アンナ・ジャーヴィスという女性が、母の命日に追悼する会を開き、参列者に「亡き母をしのぶ」という花言葉の白いカーネーションを贈ったのが始まりとされています。こののち、母に感謝の気持ちを捧げる休日がアメリカで制定され、世界中に広がっていきました。

以来日本でも、白いカーネーションは母の墓前に供えるものとされ、お元気でいらっしゃるお母様には、「愛情」という花言葉の赤いカーネーションをプレゼントする習慣が定着しました。

現在では、カーネーションに限らず、贈りたいものを贈るのが一般的になってきました。

日頃の母の苦労を効い、母への感謝の気持ちを表す日に、皆さんなら、何を贈りますか？



イラスト凍

# ベニ餅

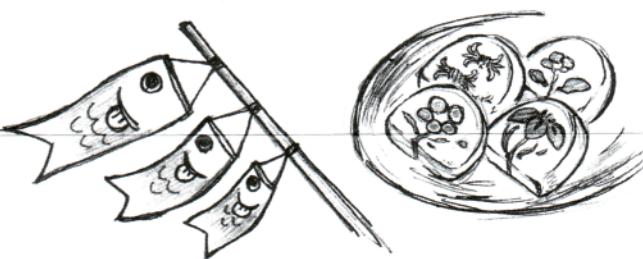
ベコ餅は、下北地方で端午の節句に食べる郷土菓子。

かまぼこ型のお餅で松の木やお花などの色あざやかな絵柄が入っているのが特徴です。

お餅といつても、ついて作ったものではなく、米の粉と砂糖・塩を混ぜて練り蒸したものです。

金太郎飴のようにピンクや緑など色ごとのパーツを組み合わせ、どこを切ってもきれいな絵柄になるように仕上げます。

それぞれの家庭によって得意な模様があるようですよ。私もイルカの模様のべこ餅をいただいたことがあります、とてもかわいい絵柄で見ているだけでも楽しくなりました。ほんのり甘い味がとても美味しかったです。



べこ餅の名前は、切る前の形が牛（べこ）の背のようにまとめてあるから、昔は模様が白と黒のまだらで牛のようだったからなどあるようです。

いろいろな説はありますが願いはひとつ、『子供たちがべこ（牛）のように強くてくましく育ってほしい』という思いを込めて作ったとされています。（橋本）

——《お客様のお声をお聞かせください》——

この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思います。

※返信用封筒が大きくなりました。商品お申し込み書を四つ折でそのままお入れください。

※今後、味の加久の屋からの情報がご不要という方は、お手数でも、ダイレクトメールの封筒を、同封の返信用封筒にお入れになり、ご返送ください。